

【地区の魅力】

高雄山や山ノ神山など 100～200mの高さの山々と吉井川、水門湾によって囲まれたまとまりのある平野部が景観構造を形成している。

平野部の大部分は江戸期の干拓地であり、現在もまとまった広大な農業景観が保たれている。牛窓往来と高雄山などの山々に挟まれた地域では、古くからの集落形態が残っている。

大宮地域が「ホタルの里」の一つとして指定されているなど、自然環境に恵まれた場所となっている。

【地区の課題】

地区を取り囲んでいる周囲の山々や農地などによる良好な田園風景を維持・保全することが必要である。

地域のランドマークであると共に、主要な眺望点である、乙子城跡などの小さな丘陵地の眺望景観の確保が必要である。

野鳥が多く見られる水門湾やホタルの里などがある大宮地域など、豊かな自然環境を市民の憩いの場として活用していくことが必要である。

県道岡山牛窓線沿いなどでは、良好な沿道景観の形成が必要である。

【景観づくりの目標】

広大な田園風景や、美しい瀬戸内海を望める周囲の山並みからの眺望を活かすとともに、干拓によって形成された広大な幸島新田の農業景観を守り、悠々たる自然の姿を大切にしたい景観づくりを目指す。

【地区の魅力となる景観資源】



シンボル景観となる乙子城跡



幸島新田の広大な干拓地景観



山並みと緑豊かな田園風景



地区をとり囲む丘陵地



歴史的な社寺（安仁神社）



広大な干拓地景観

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 農業景観を保全する	まとまった農地を適切に維持し、営農環境を守る。
	農地の宅地化を適切に誘導する。
2. まちの周囲を囲む緑の景観を保全、活用する	市街地の背景となる斜面緑地を守る。
	小さな丘陵地の緑地景観を守る。
3. 幹線道路の沿道景観を修景する	良好な視点場として活かす。
	屋外広告物の形態・意匠をコントロールする。
4. 良好な住宅地景観を形成する	緑豊かなゆとりのある住宅地を形成する。
	地形になじんだ住宅地を形成する。

図 景観づくりの方針

